

ラフィックス GTC-R 取扱い説明書

090827

本製品はレース中における、緊急脱出を容易に行えるように開発されたパーツです。

本体耐久性

- 本製品はヒンジ運動をする二つの構造物のロックを、ボールロックシステムで行なうことにより、「ガタ」を著しく小さくすることを目的に開発しました。ヒンジ運動を行なう部分の摺動については、物理的に寸法クリアランスをゼロにすることはできません。従って、摺動する部分が存在する限り、極わずかな「ガタ」は存在しますが、製品の出荷状態ではこの値を極限まで小さくしており、使用上、ガタを感じることはない程度にしています。但し、摺動する以上、摩擦による磨耗は避けることの出来ないもので、磨耗した場合、ガタが生じる事が考えられますが、本製品では、1万回の作動テストを行なった結果、極わずかなガタの増加しか認められませんでした。ご使用中、著しくガタが大きくなったと感じられた場合には速やかに使用を中止し、弊社までお問合せ下さい。

機能耐久性

A・レバーのホールド機能について

- 使用に伴う磨耗が重なりますと、インナーカムによるレバーを引き上げた際の「ホールド」がされなくなる場合があります。各部品の摩擦抵抗が増加することが主原因ですが、部品同士の摩擦による「金属片」の発生により、動きが悪くなってしまうこともあり得ます。本製品では、ホールド機能を実践にするために、強力な永久磁石を装備し、強制的にインナーカムをホールド位置に作動させる設計となっています。インナーカム付近の抵抗が使用に伴い増加しても、ゆっくりと確実に動作させれば永久磁石によるインナーカムの動作は正常に行なわれますので、この点に留意して使用してください。

B・ロックの確実性について

- 本製品では、鋼製ボールをスリーブアームが押さえつける事により、ロックがされます。上記インナーカムによるホールド機能と併せ、ソケットを閉じるようにチルトダウンすれば、スリーブアームが自動的にロック位置まで下がるように設計されていますが、長期間に渡る使用では、自動的にロック位置まで下がらずに、ロックが完結されない状態が想定されます。この現象も各部の磨耗によって、摩擦抵抗が増加し、ボールの動きに障害が出る事が原因です。下記に記載されているメンテナンスにより、この問題を解決することが可能です。

下記メンテナンスを行なったにもかかわらず、ロックの不具合が解決されない場合は、速やかに使用を中止し、弊社までお問合せ下さい。

メンテナンス方法

- 市販の鉄鋼用防錆潤滑剤のスプレータイプを綿棒に拭き着けます。
- 綿棒から滴らない程度が適量です。
- 本製品の鋼球に綿棒で塗布してください。
- 左右の鋼球にそれぞれ一回ずつ行なってください。
- レバーを上方に抑え、インナーカムを押すと「ホールド」が解除され、より鋼球に塗布しやすくなりますが、バネにより強くスリーブアームが降りますので注意して行なってください。

稀にボールの馴染みが出るまで、リリースやロックが硬くなる場合があります。また、冬場では結露・梅雨時期の湿気の影響でリリースやロックが硬くなる場合がありますが、これらはボール部への給油でほぼ解決することが出来ます。



危険：油脂を塗布するさいに、各部品に指を挟まれることのないように注意して行なってください。



注意：上記不具合が発生してから行なってください。過度の塗布は故障の原因となります。



注意：必ず、上記塗布方法を守って下さい。ボール部以外への給油は、ホールド機能に影響を及ぼすことがあります。最悪の場合はホールド機能が失われます。

